



# Feng-Shui Gallery

special edition vol.31

～風水デザインが空間にもたらす影響を、住空間のスペースごとに考える～

## 『家具・小物 ③』



【写真1】 淡い色味の床と天井、アクセントの壁面は明る過ぎないオレンジ系統の色でデザインされたダイニングルーム。あえて彩度を抑えた椅子を用いることで、空間に締まった印象をもたせるとともに、壁の色彩を引き立てています。彩度を抑えた空間には黄色や赤といった原色の花を飾ると良いでしょう。【写真2】 クリーム色の壁と、床に敷いた赤いラグマットのコントラストが印象的なリビング。壁が大きくあいていると寂しいイメージをあたえるので、大きめの絵画を取り付けて調整しています。【写真3,4】 赤い椅子が配置されたダイニングとホール。同じ赤い家具でも、淡い色味の空間では良いアクセントとなり、濃いめの色味の空間ではより一層エネルギーな空間を演出する要因となっています。【写真5,6】 赤/オレンジ/黄色は活力や明るさ、希望などをもたらす色であり、リビングやダイニングにむいています。【写真7】 オフィス空間にはグリーン系の色を用いると、心の落ち着きや身体の癒しをもたらします。【写真8】 アイボリーの壁面とフローリング床で構成された、色彩の種類が少ないダイニング。このような空間に置く家具は、色彩ではなく柄でアクセントをもってくると空間にまとまりがでます。



### 風水でインテリアを整えた空間は、脳に心地よい刺激をもたらします。

住む人の生活スタイルに沿って、各居室に合った家具を選定し、配置場所を整えることはとても大切なことです。では、部屋にあったデザインの家具はどのようなものなのか、今回は色についてお話ししていきます。一般的に風水では、「淡い色を全体的に使うと、柔らかな優しい空間に仕上がる。」「壁の一面やラグマット等で濃いめの色をアクセントとして入れると、空間に心地よい刺激をもたらすことができる。」「原色は視覚的に刺激が強いため、家具やクッションなどの面積が少ない部分に用いる。」「という考え方があります。ただし家によっては、賃貸で壁の色を変えられなかったりする場合や、住む人によっては淡い色が好きではない、また特定の色が好きという場合もあると思います。このような場合、大切なのはバランスです。空間にあった色彩の家具を選び、足りない部分は「花や植物」「絵画や写真の額装」を上手に使うとバランスをとることができるでしょう。絵画や写真は風水を調整する力をもっています。どんな絵でも良いわけではなく、その場に合った内容やサイズを選ぶ必要があります。良い氣を放つ絵画や写真は財氣を呼び込み、室内を活性化させることができます。また、絵画や写真を四季の変化に合わせて変えることで、室内のイメージが変化し、住んでいる人の脳にも良い影響を及ぼします。